

東洋大学 経営学研究科/生体医工学研究センター
共催シンポジウム

日本の医療産業の発展と スタートアップ企業の知財戦略

日本では新たな産業創出・成長が求められていて、その中でも特に有望とされるのが医療産業です。日本における医療産業の発展の鍵を握っているのがスタートアップ企業による研究開発と新製品・サービスの創出です。そして、そこに必要とされるのが特許出願などの知財戦略です。

本シンポジウムでは、医療機器および医療システムに関するスタートアップ企業の経営者をお招きし、その事業展開や研究開発における知財戦略の在り方を語っていただきます。その上で、日本の医療産業の成長とスタートアップ企業の知財戦略の関係について、考えていきます。

開催日時 2020年2月22日(土) 午後13時30分～午後16時30分

会場 東洋大学 白山キャンパス 125 記念ホール(8号館)
(〒112-0001 東京都文京区白山5丁目28-20)

参加費 無料

申込など toyoseminar@gmail.com

司会・コーディネーター:東洋大学 経営学部 教授 山本聡

開会挨拶 東洋大学大学院 経営学研究科 研究科長・教授 宮村 健一郎

講演 1:医療機器 スタートアップの知財戦略 株式会社ナノグレインズ/小松精機工作所
小松隆史氏



諏訪の著名な自動車部品企業・小松精機工作所と独立行政法人物質・材料研究機構の共同研究をもとに、2014年9月に創業。超精密加工技術を武器に、諏訪地域の中小企業や国内外の大学と連携、医療機器を開発。経済産業省「地域中核企業創出・支援事業」にも採択。

2016年度「EYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2016 ジャパン」甲信越代表

講演 2: 医療システム スタートアップの知財戦略 KAKEHASHI(カケハシ) COO 中川貴史氏



東京大学法学部卒業、マッキンゼー・アンド・カンパニーにて製造・ハイテク産業分野のコンサルティングを行った後、2016年3月創業。薬剤師の業務を効率化させる電子薬歴システム「Musubi」を開発。累計資金調達額は37億円に達するなど、急成長を遂げ、日本の医療産業を支える「ネクスト・ユニコーン企業」とされる。

開会挨拶 東洋大学 理工学部・生体医工学研究センター長・教授 加藤 和則